



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田事務所/田子の浦事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

- 《目次》 ●清水港で「大規模津波防災総合訓練」が行われます。(1)
●「風向き」 清水港湾事務所長 奥田 薫(1)
●平成21年度 清水港湾事務所 補正予算概要(2)
●にぎわいあるみなとづくりを応援します！～みなとを活かした地域活性化支援制度の紹介～(2)
●下田「黒船祭」が開催されました ●清水港のむかしのお話をお聞きしました(3)
●《お知らせ》「清龍丸」「海王丸」一般公開(4)

清水港で「大規模津波防災総合訓練」が行われます。

いつ発生してもおかしくないといわれている東海地震により、伊豆半島から紀伊半島にかけての駿河湾、遠州灘、紀伊半島の沿岸域等に至る広範囲において甚大な被害が出ると想定されています。

これらの地震津波による被害の軽減を目指し、清水港の貝島地区をメイン会場として大規模津波防災総合訓練を行います。

本訓練は、平成16年12月のスマトラ島沖大地震に伴うインド洋津波災害を踏まえてスタートした実践型の防災訓練で、政府の中央防災会議の平成21年度総合防災訓練大綱に位置づけられており、平成17年度の和歌山県御坊市、平成18年度の徳島県小松島市、平成19年度の宮城県気仙沼市、平成20年度の宮崎県宮崎市について5回目となるものです。

訓練では、住民の方の避難訓練、飛行機・ヘリコプターによる上空からの被害情報収集、ヘリコプター・船舶等による漂流者救助、津波により海上へ流出したコンテナなどの浮遊物の回収、岩手・宮城内陸地震でも活躍した「TEC-FORCE」による施設の被害状況調査、海上からの緊急物資の輸送等の訓練について、地域住民と防災関係機関が協力、連携し実施する予定です。＝関連記事(4面へ)＝大型しゅんせつ兼油回収船「清龍丸」一般公開情報

【訓練概要】

1. 日時：平成21年7月4日(土)
9:00～12:00
2. 場所：静岡市清水区貝島地区
および、同沖合
3. 参加機関：国、地方自治体、
公共機関等49機関
4. その他詳細：

◇国土交通省ホームページ

http://www.mlit.go.jp/report/press/river03_hh_000158.html

◇中部地方整備局ホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/2009/0602.html>

5. 問い合わせ先：

清水港湾事務所 岡本、翁長、吉田
電話：054-352-4146(代表)



「風向き」

清水港湾事務所長 奥田 薫



6月4日ついに静岡空港が開港しました。空港管理者静岡県の発表によれば、開港から4日間(4日(木)～7日(日))の空港入場者数は4万6770人(うち見学者3万6469人)。また報道によれば、国内線搭乗率が静岡発22便平均で82.3%、静岡着22便で72.2%。一般的によく言われる採算ライン6～7割を上回っています。

「初もの効果が大きい」という声、新型インフルエンザや世界経済不況といった「需要低迷要因もあるはず」など見方は様々ですが、風は一様ではなく「逆風」もある中での滑り出しであるとは言えそうです。しかしことが飛行機の話だけに、「追風」よりは「逆風」の方が浮上しやすいわけで・・・なんていうのは言葉の遊びでしかありませんが・・・空港を活用して大いに浮上し地域に貢献しようという動きも目を引きます。フジドリームエアラインズが7月23日から小松、熊本、鹿児島便の運航を開始します。結果の傍観「どうなるか」ではなく「どうするか」(自ら動く)。清水港湾事務所もそういった意識を見習い、経済貢献を目指します。

〇〇〇〇平成21年度 清水港湾事務所 補正予算概要〇〇〇〇

平成21年度補正予算が5月29日に成立し、清水港湾事務所には総額で約30億円の予算が配分され、当初予算と今回の補正予算とを合わせると、平成21年度予算は約110億円となります。整備効果の早期発現、地域経済の活性化のため、円滑な予算執行に努めます。

清水港では、新興津コンテナターミナルの第2バースの進捗を図るほか、日の出ふ頭の補修など、内港（水深12m）機能の保全を図ります。

田子の浦港では、漂砂が激しい港口部における航路保全対策を試験的にを行います。

御前崎港と下田港では、防波堤の進捗を図り、港内静穏度の向上を図ります。



御前崎港防波堤工事



下田港防波堤工事



清水港新興津岸壁工事

にぎわいあるみなとづくりを応援します！

港湾の所在する「みなとまち」では、港を核とした地域の活性化が進められており、国土交通省では、この様な港を活用した地域活性化への取り組みを様々な形で応援する支援制度を運用しています。

ここでは、清水港湾事務所管内において、現在実施されている、「みなと振興交付金」と「みなとオアシス」の支援制度についてご紹介します。

(詳しくは、清水港湾事務所、または、国土交通省港湾局のホームページをご覧ください。→<http://www.mlit.go.jp/kowan/index.html>)

みなと振興交付金 (ソフト) + (ハード)

支援内容

港湾所在市町村等が作成する「みなと振興計画」に基づき実施される事業を交付金により支援する。

支援例

- ・支援施設と併せた社会実験によるにぎわい空間づくり
- ・「みなとオアシス」の支援(→右記に記載)
- ・旅客ターミナルを中心とした交流拠点
- ・緑地プロムナード 等

認定事業

「清水港新興津地区いきいき交流みなとまちづくり」

計画概要: 小型船だまりを整備し、海上アクセスの提供による、陸海の観光交流拠点の連携支援及び回遊性の強化を図る。

事業主体: 静岡県、静岡市

事業内容: 防波堤、物揚場等の基幹事業、並びに交流イベント(社会実験)開催等の提案事業

全体事業費: 約24億円

計画期間: 平成20~24年度

みなとオアシス (ソフト)



支援内容

人々の賑わいや交流を作り出す港の施設を「みなとオアシス」として認定し、国がその広報活動を支援する。

支援例

- ・「みなとオアシス」シンボルマークの使用
- ・広報紙や国土交通省のホームページによる広報支援
- ・道路地図への掲載や道路標識の設置の支援
- ・「みなとオアシス」を拠点とした各種支援の活用 等

認定事業

「みなとオアシス沼津」

構成施設: 大型展望水門「びゅうお」、沼津魚市場「INO(イノ)」、マーケットモール「沼津みなと新鮮館」、立体駐車場「ぬまづみなとパーキング」 等

サービス: 観光情報の提供、休憩施設・トイレの設置 等

災害時の支援機能:

津波緊急避難所→大型展望水門回廊

緊急物資集積場所→マーケットモール、旅客船ターミナル 等

*中部のみなとオアシスでは、「安心のオアシス」として、災害時の生活支援機能を付加しています。

下田港事務所より「黒船祭」が開催されました

5月15日～17日に、下田市で、「黒船祭」が開催されました。

1934年(昭和9年)に第1回が開催されて以来、今年で、第70回目を迎えた歴史ある行事です。16日には、下田公園で記念式典が開催され、来賓からの祝辞では、日米の友好親善や世界平和を唱える言葉が多く聞かれました。

下田港は、1854年(嘉永7年)の日米和親条約により、漂流民の救助ということで開港された港です。開港後、150年以上が経過した現在でも、直轄事業では避難港として、外防波堤の整備を進めております。黒船祭期間中に下田市より、外防波堤の早期完成の要望も受けました。東海地震の発生も心配される中、津波への効果も期待できることから、益々の整備促進を図って行きたいと思っております。



米海軍第七艦隊音楽隊による演奏
(下田の仙寺にて)

清水港のむかしのお話をお聞きました。

5月23日(土)・24日(日)に、清水マリンターミナルにおいて、「清水港第2回インポートバザール&第10回フラワーショー」が開催され、当事務所も出展し、パネル等で港湾整備事業の紹介をしました。

パネルのほかにも、“清水港開港110周年”をテーマに、当事務所に保管されている昔の港の写真や資料などを展示し、ご覧いただいた方からは、昔の清水港の様子など貴重なお話を聞くことができました。

一部をご紹介します。

- ・子供の頃は、袖師に海水浴場(現在の袖師ふ頭)があって、たくさんのお客さんが来たよ。夏限定で営業する“袖師駅”もあったのよ。
- ・興津の浜(現在の新興津ふ頭)は岩がゴツゴツしていて、その岩にたくさんのツブ貝がついていたよ。
- ・巴川と貝島の間“羽衣橋”が架かっていたんだ。
- ・テルファー*が鉄の音をたてて動いていたんだよ。 などなど。

*テルファー・・・約80年前に旧清水港駅に設置された木材積込機械。
現在は、有形文化財として、清水港マリンパークに保存されています。

また、写真をきっかけに、新興津第二バースや人工海浜・緑地の整備についてもご紹介することができ、「人工海浜の完成が楽しみ。」「第二東名高速道路や中部横断自動車道、新興津第二バースが完成するまでには、清水港に荷物や観光客の受入体制を整えておく必要があるね。」など、公共事業に対するご意見を伺うこともでき、地域の方々の港への関心の高さを感じました。

清水港が、昔のように、親しまれる港になるよう、引き続き地域の方々の声をお聞きしながら、港湾整備に取り組んで参りたいと思っております。



望月義夫衆議院議員らによる
オープニングセレモニー



終戦直後(1947年)の清水港航空写真や、興津ふ頭着工時(1962年)のアルバムを展示しました。



イベントには、2日間で、約13,000人の来場者がありました。

みなとづくり見学会をご存じですか？

清水港湾事務所では、『みなと』の果たす役割を地域の皆さんに広く知っていただくことを目的として、「みなとづくり見学会」を開催しております。

- ☆対象者☆ 自治会、NPO、学校等の団体
- ☆随時開催(日時は要相談)

お申し込みはこちらまで

- ◇清水港湾事務所
TEL054-352-4148
- ◇御前崎港事務所
TEL0548-63-4840
- ◇下田港事務所
TEL0558-23-1208



お知らせ 大型しゅんせつ兼油回収船「清龍丸」清水港入港

1面で紹介した大規模津波防災総合訓練に参加するため、名古屋港から大型油回収船「清龍丸」が清水港へやって来ます。

「清龍丸」は、平成17年4月に新たに建造された大型のしゅんせつ兼油回収船です。通常は、名古屋港で船の通る航路を整備する「浚渫(しゅんせつ)」を行っていますが、大量油流出事故が起きた際には、「大型油回収船」として出動する船です。

このような「大型油回収船」は全国に3隻(北九州、新潟、名古屋)配備され、「清龍丸」は中部地方で唯一の「大型油回収船」です。

清龍丸の清水港入港にあわせ、下記のとおり船内の一般公開を行いますので、ぜひこの機会にご覧下さい。



清龍丸

総トン数 4,792トン

全長 104m

速力 13.5ノット(時速約25km)

「清龍丸」一般公開

◇日時:7月5日(日)10:00~15:30

◇場所:清水港日の出岸壁 ※見学自由・申し込み不要

◇問い合わせ先:清水港湾事務所 吉田(電話 054-352-4149)

※天候の状況によって、また、油流出事故発生時には、中止する場合があります。

※駐車場はございません。最寄りの有料駐車場または公共交通機関をご利用下さい。

※「清龍丸」についてはこちら...http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/NAGOYA/torikumi/safe_seiryu.html



御前崎港☆初入港☆帆船「海王丸」一般公開

世界最大級の帆船「海王丸」が、今年7月、御前崎港に初入港します!

入港時には、歓迎セレモニーや一般公開、マストに登って帆を広げる「セイルドリル」の披露などが予定されていますので、みなさん、是非お出かけ下さい!!

帆船「海王丸」

総トン数 2,556トン

全長 110.09m

高さ 約50m

撮影:平成18年2月清水港



☆お問い合わせ:御前崎市役所 商工観光課
TEL:0537-85-1135

==== スケジュール ====

☆7月24日(金)10:00頃入港

☆7月25日(土)セイルドリルの披露

☆7月26日(日)一般公開

☆7月28日(火)14:00出港

※予定は変更される可能性がありますのでご注意下さい。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時30分~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く) その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

■本紙に関するお問い合わせ先■
清水港湾事務所 企画調整課

太田・屋敷

TEL 054-352-4148

e-mail

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp

